



衆議院議員 門 博文 活動報告

かど 門 TOPICS

□ 7月25日 地域の皆さんと枇杷谷池を視察



有功地区の枇杷谷池の水で米栽培を行っている6軒の農家の皆さんと有功水利組合松田組合長よりご要望を賜りましたので現場の視察を行いました。ご要望の内容は、周辺民家からの生活雑排水流入の停止、現在機能していない池の底樋の正常化、樋の周りの泥の撤去です。周辺の民家からの生活雑排水流入による水質悪化の改善を図るため門博文は、和歌山市と協力して対策を進めてまいります。

□ 7月28日 尾花市長と共にワクチンの供給量の安定化を要望



オンラインにて要望



多くのマスコミが取材しました

7月中旬に尾花市長より「ファイザー社製ワクチンの供給量の不足、今後の供給計画が不透明であることから、医療機関等に不安が生じ、このペースが続けば順調に進んでいたワクチン接種のスピードを落とさざる得ない状況になりそう」と相談を受けましたので門博文は、尾花市長と共にオンラインにて厚生労働省の樽見事務次官に「ワクチン接種の推進にかかる要望」を行いました。

尾花市長より、当初全市民の70%が9月末頃に2回目のワクチン接種完了と見込んでおりましたが、供給計画の不透明によって、2回目の接種完了の見込みが11月12日頃にずれ込んでしまう旨を事務次官に訴えました。

①ワクチン供給量の安定的な確保、②若年層の接種率が高い職域接種を加速化させるため「職域接種で使用するモデルナ社のワクチンの早期の供給」。こちらの2点を尾花市長と共に要望いたしました。樽見事務次官からは「和歌山市のようにしっかりとやっているところに、ワクチンがきちんと行き渡るよう念頭に置かせていただきます」と心強い言葉を聞くことができました。

引き続き尾花市長と共にワクチン接種の早期完了を目指してまいります。